

『二十歳のつどい』を迎えるにあたって 当房実行委員長に聞く

Q 実行委員に応募した理由は。

学 校生活で一番楽しかった行事が文化祭であり、実行委員や裏方などをしたことから、社会人になって、似たようなことができないかなと思っていた時に、二十歳のつどいの実行委員の存在を耳にして、絶対やりたいと思うようになりました。

Q 大変だったこと、嬉しかったことは。

社 会人として働きながら、両立することが大変でした。また、私は式典の動画作成等を担当し、周りの方々から嬉しいお言葉を頂けたことが嬉しく、来年以降の後輩たちにアイデアとして残せたことにやりがいを感じることができました。

Q 後輩たちへメッセージ。

実 行委員になったからこそ得られる達成感、責任感があります。また、二十歳のつどいに関わる方々とコミュニケーションをとりながら、式典のために準備する経験が今後、社会人になっていく過程で大いに役立つものだと思います。実行委員として、さらに絆を深めることができ、楽しく過ごすことができました。

Q テーマに込めた思いとは。

『報 恩 謝 徳』 は、受けた恩や徳を持ち、私たちが両親へ感謝し、恩返しする意思表示です。『感謝と共に踏み出す1歩』は、夢・挑戦を一番に応援してくれる両親への感謝の気持ちとともに、夢・目標・大人への1歩を踏み出そうという思いを込めました。



▲ 実行委員会での作業の様子

Q 最後にメッセージ。

こ の度は、私たちのために二十歳のつどいを開催していただき、誠にありがとうございました。多くの方々に支援いただき、今日を迎えることができました。一人ではできないことを仲間たちと作りあげること、お互いの絆を深められたこと、



▲ 当房実行委員長から実行委員の皆さんへ
久々の再会で緊張しましたが、中学校の時の思い出を思いだしながら、ひとつのものを作り上げることができました。ありがとうございました。

そして、多くの方々とかわりを持つことで良い式典となりました。今回、経験したことを今後の人生にかけていきたいです。



当房 志龍さん
(新城小学校出身)
尊敬する人は、
B'zの松本孝弘さん

菅井親子



りかさん (母)
これからも夢に向かって、頑張ってください。これからいろいろつらいこともあるだろうけど、垂水で待っていますし、応援しています。頑張ってくださいね。
あつし 惇志さん
感謝するとともにくじけそうになった時にいろいろ支え、励ましてくれたことで今の力になっています。これから、力をつけて、恩返ししていきたいです。

小濱親子



さとる 悟さん (父)
これから大きく羽ばたいてください。
しゅん 駿さん (左)
一人暮らしを通して、親のありがたさを改めて実感しました。恩返しできるように頑張ります。
れん 蓮さん (右)
今まで20年間育ててくれてありがとうございます。これから自分の夢に向かって頑張ります。

親子の絆 ~ 愛のメッセージ ~

このページでは、二十歳のつどいの会場でお会いした親子にお互いへメッセージをいただきました。普段は、照れくさく、面と向かっては伝えることができないメッセージを私たちがお聞きし、広報誌を通じてご紹介いたします。20年間、育まれた心温まる親子の絆をご覧ください。

和田親子



けいいちろう 警一郎さん (父)
これからはいろんな壁にぶつかってしまうと思いますが、チャレンジ精神をもって、頑張ってください。おめでとう！
けんとく 健徳さん
二十歳になったので、立派な大人になりたいです。感謝の気持ちを持って、これからもっと頑張り、親孝行をします。

松浦親子



こうじ 浩二さん (父)
多くの方に支えてもらっていたことを忘れずにこれからも過ごしてくれたら嬉しいです。
ひとみさん (母)
社会人になったら、人にやさしく、責任感を持ってたのしく仕事をしてください。
れな 令奈さん
両親のおかげで今の私があります。本当にありがとう！